

# 市民協働かわら版

No.37

発行：泉南市総合政策部政策推進課

〒五九〇〇五九二 泉南市樽井一―

TEL：〇七二―四八三〇〇〇四

(平成二十九年七月十九日発行)

六月二十七日(火)に平成二十九年第三回「泉南市民まちづくりサロン」が樽井防災コミュニティセンターで開催され、初めての方二名を含む十名(市民八名、職員二名)の参加でサロンが始まりました。

【共催：泉南市ABC委員会】

前々回のかわら版を含め、今回のかわら版も参加者が執筆しています。

当日のテーマと主な意見は次のとおりです。

## ①商工業の発展について

はじめに、恒例となった参加者が自主的にまとめた資料をもとに泉南市の商工業の発展について意見がありました。

資料の中で、大阪市難波の「大阪べりべりマルシェ」の紹介があり、そして泉南市の花マルシェと泉南マルシェについて意見が出ました。

「市民・観光客が来てくれるところ、そして海や街道を活用する手段があるのではないか？」

「マルシェを行うにあたっての仕組みやネットワークについて市民が出し合って開催すればいいものができるだろうが、泉南市のネットワークがよく分からない。花マルシェも市民の方全員に行き渡っているのか？商工会だけでいいのか？」

「個人にも出店のチャンスがあればいいのでは？知っているお店ばかりで驚きがないし、わざわざマルシェに行かなくてもいいとなる。」

「イングリッシュローズガーデンは春、秋それぞれ一万人が来場するイベントだが、駐車場が狭い。会場へのアクセスが不便で混雑が問題。」

「泉南市の観光って何だろう？有名な街道沿いに何もない。藤まつりのとき以外に来られた方がお茶を飲む場所もない。」

「猫のタマ駅長でたくさん観光客が駅を訪れたが、駅周辺の唯一のお店でアイスクリームを購入するだけであまり人が来ない。いちごサイクルというレンタサイクルや、指導員常駐のノルディックウォークもあるがほとんど利用がない。」との意見があり、観光地としてにぎわいを創出するこの難しさを感じました。

## ③まちづくりサロンについても

「今回、樽井防災センターで開催したが、開催時間中、私たち以外に来所者がいなかったのでも、こういう施設をどう生かしていくのかが心配になった。せっかくそれぞれの地域の施設を使うなら、その施設の利用方法やこれからの運営の話題も加えたら地域住民にとっても興味がわくのでは？」

「泉南市といっても結局居住地域が中心となるわけで、市に対する興味を持つには、まず自分の居住地域に対する理解が必要では？」

「泉南市の長寿社会アンケートの結果を見ても、街づくり等に関わろうという人は少なかった。まちづくりサロンを考えて行動して発言する場を利用してもらいたい。」

「地域子育て支援センターひだまりで開催して以降、知り合いのお母さんたちから、『まちづくりサロンの開催時間には行けないけど、任んでいるところに対してこういう思いがある』と話を聞くことが増えた。皆、こうなったら良いな、という思いはあるけれど、誰に言ったら良いのか分からないのでは？あちこちに出向いて、サロンをPRするのもいいと思う。」

「初めて参加して、とても有意義な時間だった。このようなサロンがあることを市民の皆さんに関心を持って頂きたいと思った。希望としてはもっと話しができる場を持つようにしてもらいたい。」

今回もあつという間に、また大変有意義な時間が過ごせました。

次回は七月二十六日(水)十時から泉南市埋蔵文化財センターで開催する予定です。多くの市民の皆様の積極的な参加をお待ちしています。

みんなで、  
考えるで  
しょう！



泉南市マスコットキャラクター  
せんなんくまじろう  
「泉南熊寺郎」 “せんくま”